

高校生が税を考える

「税に関する高校生との座談会」



▲緊張した面持ちで紙を掲げる生徒。左から島田さん、草野君、森沢さん。また右は植山さん。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

この座談会は11月11日から17日にかけての「税を考える週間」に合わせて税について考えようという趣旨で、司会の植山隆幸さんの質問に答えるという形で行われた。

Q 税にいつ関心をもちましたか

草 父が税務署の勤めているので自然に知ることができました

鳴 税の作文を書くときに税について色々調べたことがきつ

11月24日、彦根税務署に本校生徒の嶋田彩花さん(2-4) 草野毅彦君(2-8)の3人が招かれ、「税に関する高校生との座談会」が行われた。またゲストとして彦根愛犬納税貯蓄組合連合会長の夏原平和さんと近畿税理士会彦根支部長の三須宗次さんが参加された。

Q 税について家族と話しますか

草 税の利用方法について話したり、確定申告の時期になるとその話をします

森 家が自営業をしているので、税理士が来た時に話をすることがあります

嶋 ニュースや新聞で取り上げられる税の問題について話します

最後に植山さんは「納めた税金は必ず形を変えて帰ってくるので必ず税を納めて欲しい」と締めくくられた。

Q 今税についてどう考えていますか

森 税なしには社会が成り立たないので、正しく納税されそれが正しく使われるようになってほしいです

草 正しく申告して納める人もいるが、不当に納税を免れている人がいるのは不公平だと思います

嶋 税は教育へ支出されたり、研究に支出されることでさまざまな可能性を広げることができると思います

かけです
森 小学生の時百均の商品はなぜ105円なんだろうと思っ
たのがきっかけです



税金のことができた。税金を納めたら年齢になったら納めていきたい



植山さんの言ったように、税金は自分たちが義務としてちゃんと納めなければいけないと思った



税金についてこれから自分たちが大人になって必要になってくることを知ることができてよかった